

## お告げのマリア修道会



発行： お告げの  
マリア修道会  
2021年1月  
TEL095-846-8300

十 わたしは主のはしためです。・・・

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

コロナに弄ばれた感が抜けきれないまま新しい年を迎えましたがお元気で過ごしてはいかがでしょうか。感染拡大を受けて、様々な自粛が呼びかけられています。神様の思いに心を寄せ、出来ることに取り組み一日一日が、終息へとつながりますように。

## 会の動き

・総会に向けて

コロナ感染拡大の中で、総会開催も危ぶまれる状況になり、心配していますが、1月23日、最後の総会準備委員会で最終準備が終わります。予定通り開催できるよう共に祈りください。

・志願者成人式

純心大学在学中の志願者、岩永咲来（さくら）さんと宇野珠菜（みいな）さんが、1月11日成人式を迎えました。あいにくの雪日和で、2人一緒に本部で祝うことはできませんでしたが、岩永さんは神の島修道院で、宇野さんは修練院・本部で姉妹たちにお祝いしていただきました。各家庭で祝っていただいた時の振り袖姿の写真も姉妹たちに紹介してくれました。本部での祝いで、お祝いの言葉を担当した姉妹は、自分の成人式の時、松永司教様から頂いた言葉、「受けるよりも与える方が幸いである。」（使徒言行録20章35節）を贈りました。二十歳になったら与える人になりましょうと。神様を見つめて、周りの人の助けを頂きながら召命の道を歩み続けることができますように。

中庭の椿。今年も雪にも負けず咲いてくれました。日陰ですが、ピンクの大輪。冬の厳しさを和らげてくれます。



## 支部修道院紹介

\* 奥浦修道院（五島市平蔵町）

パリ外国宣教会マルマン神父様により、1880年（明治13年）に奥浦村大泊子部屋が始められ、その協力者としての女性たちの共同生活が始まりである。子部屋は、児童養護施設奥浦慈恵院となる。現在奥浦修道院は、浦頭の平和のばら保育園の近くに移転し、奥浦慈恵院も同じ敷地内に移転している。各施設に勤務する姉妹、松山町の聖マリア病院に勤務する姉妹、修道院、教会での奉仕及びお祈り係の姉妹14名の共同体である。

次回は久賀修道院です。

## 会員帰天、お祈りください

テレジア 道向チヨ子 90歳 福江修道院  
テレジア 山崎アヤ子 96歳 黒崎修道院

## まごころ会会員帰天、お祈りください

ペトロ 海山 岩男 70歳 青砂浦教会  
フランシスコ古木政人 70歳 青砂浦教会

## ひとこと

先日の大雪の被害はありませんでしたか。本部がある小江原は、長崎市内では雪が積もる地域で、庭も畑も真っ白で、20cmは積もっていました。水道管の破裂もありました。

コロナに影響を受けながらも、本部では大聖堂いっぱい広がって、毎朝のごミサが行われ、参加できる喜びとごミサに参加できない方々の分も心を込めて祈り続けています。